



研究でつなく未来： 社会課題を発見する トランジションの視点

受講者自らがみらいを考えるきっかけづくりとして公開講座を行います。
金城学院大学が取り組む先端研究を通して社会的背景、課題を一緒に考えましょう。

6.27

土

10:00-12:00

LIVE配信 無料・どなたでもご参加ください

※後日オンデマンド配信も予定しています

お申込み

受付期間：4月6日(月)－6月17日(水)

<https://forms.gle/KekgG4PhYim3isRbA>



講座内容

- ロールフルネス －心理学の社会実装に向けて－
- アメリカの福音派と政党政治 －アメリカの福音派は一枚岩なのか－
- 心不全の予防を目指して －食品研究で健康課題の解決を目指す－

タイムスケジュール・詳細

10:00-10:05 開会・趣旨等説明 (司会・進行：看護学部看護学科 教授 藏本直子)

10:05-10:35

講義1 ロールフルネスー心理学の社会実装に向けてー

人間科学部多元心理学科 教授 加藤大樹



ロールフルネスは、私たちの日常における役割を通じた満足感をあらわす新しい心理学的概念です。ロールフルネスの最新研究の紹介に加え、心理学分野におけるアカデミアと社会のつながりや、研究成果の社会実装の取り組みについてお話しします。

10:35-11:05

講義2 アメリカの福音派と政党政治ーアメリカの福音派は一枚岩なのかー

文学部国際英語学科 准教授 相川裕亮



最近アメリカの「福音派」というキリスト教徒たちが話題です。現政権への影響が注目されていますが、彼らと政治の関係は時代と共に複雑に変化してきました。本発表では、二〇世紀最大の福音伝道者ビリー・グラハムを中心に戦後アメリカの政教関係についてお話しします。

11:05-11:35

講義3 心不全の予防を目指してー食品研究で健康課題の解決を目指すー

生活環境学部食環境栄養学科 助教 河野有華



心不全は、生活習慣の乱れや加齢などによって発症リスクが高まる病気です。こうした病気を防ぐためには、日々の生活や食事が重要になります。今回の講演では、食品研究が健康課題の解決にどのように役立つのかについてお話しします。

11:35-11:45 質疑応答・終了

主催

金城学院大学 研究推進・地域連携センター

問い合わせ先

kenkyu_chiiki@kinjo-u.ac.jp

センターHPは
こちら

